

教育

研究

社会貢献

大学の3つの使命を果たすため 図書館は、今何をすべきか

参加
無料



演題

台湾の学術図書館を再構築する
～知識インフラからAI主導のイノベーションまで～

講師 陳 昭珍氏

国立台湾師範大学 図書館情報学研究所 名誉教授
中原大学 教養教育センター兼任講座教授(特任教授)
中原大学 前図書館長

2026.10.8(木) 10:00-12:00

ZOOMウェビナーによるリアルタイム配信 加盟館限定ページにてアーカイブ公開予定

※ 講演は中国語で行われます。日本語同時通訳あり、スライドは英語表記

対 象 私立大学図書館協会加盟館所属の方
国立大学図書館協会会員館及び公立大学図書館協会加盟館にご所属の方もお申込みいただけます。

定 員 300名

お申込み方法

2026年9月10日(木)～10月1日(木)に
以下フォームに入力してください。
折り返し、参加方法をお知らせいたします。

<https://forms.gle/wpVqh4Tiv1kxnx2w9>



QRコードからも
アクセスできます



Japan Association of Private University Libraries

私立大学図書館協会

主 催
企 画
協 力
事 務 局

私立大学図書館協会
私立大学図書館協会 国際図書館協力委員会
丸善雄松堂株式会社、Maruzen International Co., Ltd.
私立大学図書館協会 国際図書館協力委員会事務局
(中部大学附属三浦記念図書館 担当:高木)
TEL : 0568-55-7680 / Email : kokusai-ml@jaspul.org

本セミナーは、私立大学図書館協会国際図書館協力基金のもとに実施されるもので、2000年5月に国際図書館協力シンポジウムとして企画されて以来海外の図書館から講師を招き開催してまいりました。

2018年度までは加盟館を会場として開催をしてまいりましたが、2020年度からはオンライン開催により、国際図書館協力セミナーと称して、2026年度に19回を数えます。

講師紹介



国立台湾師範大学 図書情報学研究所 名誉教授
中原大学 教養教育センター兼任講座教授(特任教授)、中原大学前図書館長
陳 昭 珍 氏

陳昭珍氏は、国立台湾師範大学図書館情報学研究所の名誉教授であり、中原大学教養教育センター兼任講座教授(特任教授)です。これまで、国立台湾師範大学における教務担当副学長や図書館長など、学術面での重要な指導的役割を歴任してきました。

高等教育における学習科学の専門家として知られる同氏は、学生の学習と教員の指導法の双方の向上に多大な貢献を果たし、その分野で広く認められ、尊敬を集めています。国立台湾師範大学図書館および中原大学図書館において館長を務めたほか、国家図書館や国立台湾大学図書館での勤務経験も有しています。図書館の実務および運営に関する豊富な経験を活かし、数多くの専門的な革新や改革を主導・実行することで、図書館サービスの向上と発展に貢献してきました。また、中華民国図書館学会会長、図書館間協力協会会長、および国際図書館情報科学学会の副会長を歴任、台湾高等教育専門能力開発協会や台湾読書協会の会長として、これらの組織を主導してきました。研究業績としては、知識の組織化、読書研究、情報リテラシー、デジタル図書館などのトピックを扱った学術論文や専門書を100編以上執筆しています。私立大学図書館協会のご縁としては、2023年の海外認定研修訪問校・中原大学の図書館長として、「中原大学におけるミッションと発展政策」、「図書館の発展戦略（2023-2026）」と題し、参加者に講演をいただきました。

ご講演トピック

- ◆ 台湾の大学が直面する課題ー5つの圧力
- ◆ 台湾の大学図書館の概要と課題
- ◆ AI時代の図書館の価値…取引からプロセスへ
- ◆ 信頼できる知識インフラの3つの柱
- ◆ AI時代における台湾の大学図書館の変容「3つの側面」
- ◆ 次世代図書館サービスプラットフォーム(LSP)への移行
- ◆ 大学図書館員のコンピテンシーと役割の変容
- ◆ デジタル・ヒューマニティーズ・ハブ：手法の実験室として
- ◆ 将来のサービスモデル：AIを活用した図書館サービス
- ◆ 学術図書館の未来：主要な動向と予測
- ◆ サービスプロバイダーから戦略的パートナーへ
- ◆ おわりに：学術図書館の使命とは

本事業は私立大学図書館協会ホームページで紹介されています。

<https://www.jaspul.org/>

[TOP](#) > [研究会・研修会](#) > [国際図書館協力セミナー](#)

セミナー開催趣旨

2025年から2年にわたる連続セミナーは、「教育・研究・社会貢献という3つの使命を帯びている大学の役割・使命を果たすため図書館はなにをすべきか」をテーマとして、1年目(2025年度)は、図書館をコミュニティにおいて戦略的に位置づけることを主眼とした図書館運営の実践と哲学を、米国デラウェア大学図書館・博物館担当副学長のトレバー・ドーズ先生に、「図書館のリーダーシップとコラボレーションー 日本の学術図書館に対する米国の視点ー」と題しご講演いただきました。

2年目(2026年度)は、本協会海外認定研修事業訪問館である台湾の中原大学図書館長(当時)の陳昭珍氏にご講演いただきます。AI時代の現代台湾の学術図書館の現状や将来の展望についてのレクチャーを通して、我が国の図書館現状に対する参加者の問題意識を喚起し、講師とともにテーマについて考えるきっかけとなることを期待しております。